

令和 7 年度事業報告

概 要

令和 7 年度においても酷暑の期間が長く、その影響により草刈り作業などの外作業に就業する日数・時間が減少したことから、この期間は大幅な減収となりました。幸いなことに Line、Smile to Smile 等を活用して熱中症アラートの情報発信や注意喚起を行ったことから重篤な症状の会員はいませんでした。

冬期間においては、昨年度と異なり 12 月下旬から 2 月中旬にかけて平均的な降雪となったことから、日々の除雪作業が増えるなど一定の収益につながりました。総じて、センターの就業状況については、気候変動の波が大きく、環境の変化に左右されることから天候の影響をあまり受けないような就業先の確保が課題となっています。

会員拡大の取り組みについては、令和 7 年度以降の目標として女性会員の割合を 40%に引き上げるべく様々なイベントや活動を実施しました。女性限定の入会説明会、やまがたシルボンヌ交流大会への参加、ヨガ講習会、県シ連主催のスキンケア・メイクセミナー等の開催や女性委員会による公共施設、コミセン、店舗等への広報チラシの配布活動などを行いましたが、大幅な会員増とはなりませんでした。引き続き女性会員の確保に向けて、魅力のある事業や就業先を開拓していきたいと考えています。また、デジタルを活用して、例えば QR コードから入会説明会の申込みができる仕組みを構築して送付文書に印字するなど会員増に向けて新たな試みにもチャレンジしていきたいと思っています。

令和 7 年 4 月からは新契約方法に移行したことから、当初は事務量の増加や発注者からの問合せ等があり多忙な時期もありましたが、作業が慣れてきたこともありスムーズな対応ができるようになりました。フリーランス法の趣旨を踏まえ、各自治体、事業所、個人家庭等のご理解、ご協力により適切な契約方法に移行できたことに対し感謝申し上げます。

請負事業実績は、会員数の減少や高年齢化に伴い、農作業関係や除草作業関係等は受注があっても引き受ける会員がいない等、減収となりました。冬期間の除雪関係で盛り返しましたが、最終的には 2,047 千円の減、件数で 85 件の減となりました。派遣事業においては、新たな就業先や請負契約からの切り替えなどにより、1,104 千円の増、件数は 4 件の減となりました。

以上から、請負事業と派遣事業の合計実績においては、前年度を下回る 943 千円の減、99.5%の結果となりました。

最後に、国や山形県、長井市、白鷹町、飯豊町の各自治体、諸団体からのご支援、ご協力、山形県シルバー人材センター連合会や他センターの皆様のご指導、ご協力により各種事業に取り組むことができました。ここに深く感謝申し上げます

実施状況について（主なもの）

（１）実績

①3 月末現在の会員数

401 人（対前年度 1 人、100.2%）

②3 月末現在の請負事業の件数及び金額

4,276 件（対前年度 △85 件、98.1%）

160,633,610 円（対前年度 △2,047,313 円、98.7%）

③3 月末現在の派遣事業の件数及び金額

47 件（対前年度 △4 件、92.2%）

33,518,075 円（対前年度 1,104,153 円、103.4%）

（２）組織体制の強化

①諸課題対応のため、三役及び職員等による定期的な打合せを毎月実施した。

②事業推進委員会、安全・適正就業審査委員会、女性委員会、中長期計画検証（策定）委員会の 4 委員会において各事業計画を立案、実践した。

③職群に職長を配置して、技能向上や会員間の連携等を図った。

（３）会員の拡大

①入会説明会を毎月定期的及び随時開催し、入会者の勧誘を図った。

②女性限定入会説明会を 2 回実施した。

③シルバー人材センター広報誌の各世帯配布や回覧、ホームページへの仕事内容や入会説明会情報の掲載や更新等によるセンター活動 P R や会員勧誘等を実施した。

④女性委員会において、1 市 2 町の公共施設等や食料品店舗等に女性会員勧誘のチラシ配布を行った。

⑤ハローワーク長井主催の「まだまだやれる就職面談会」に参加して会員数の拡大に結び付ける取り組みを実施した。

⑥退会希望の会員に対しては、積極的にゴールド会員への加入を勧めた。

（４）各種研修会の開催及び参加

①新入会員研修会を 2 回開催し、シルバー人材センター会員としての意識向上、会員同士の連携等を図った。

②生活支援就業会員研修として、鶴岡市 SC への視察研修を行い、先進 SC の生活支援事業の実施状況を学んできた。

③刈込剪定において、研修会に各班長が出席して知識や技術向上等を図った。

④全シ協主催の web 研修、県シ連主催の研修会に役員や職員が参加して、資質向上を図った。

⑤地区別研修会を開催し、当センター職員による「春の安全講習会」を実施して会員の安全意識の向上を図るとともに会員相互の懇親を深めた。

(5) 各種講習会及び懇談会の充実

- ①県シ連主催の高齢者活躍人材確保育成事業・サポート事業による「緑地管理のための刈払機講習」、「清掃従事者講習」、「スキンケア・メイクセミナー」、「障子・網戸張替え講習」、「シニア向けスマートフォン講習」、「教育訓練・働く高齢者の生き方」、「教育訓練・安全運転講習」に参加し、知識、技能向上や体力向上を図った。
- ②刈込剪定に係る講習として、初心者・中級者を対象とした座学及び実技講習会を始め、一般会員対象の松の木剪定、柿木の剪定等の講習を実施し、知識や技能向上を図った。
- ③雪囲い作業に係る技能向上及び安全作業の確保を図るため、就業会員を対象に座学及び実技講習を実施した。
- ④除雪機械使用による除雪作業に就業する会員を対象に、除雪機械安全講習会を実施して、座学及び実技講習を行った。
- ⑤生活支援会員懇談会として、会員が就業して感じた困りごとや悩みなどを出し合いながら、解決に向けてアドバイスをするなどの会を定期的開催した。
- ⑥生活支援に就業している会員を対象に先進地視察研修として鶴岡市シルバー人材センターを訪問して具体的な作業内容等を学んだ。
- ⑦女性委員会主催によるヨガ講習会、筆ペン・ボールペン字講習、日帰り研修と県シ連主催のサポート事業による「スキンケア・メイクセミナー」を実施し、会員同士の融和と親睦を図った。
- ⑧県シ連主催のサポート事業による「シニア向けスマートフォン講習」を開催して、会員のデジタルスキル向上を図った。

(6) 就業事業の拡大

- ①当センターで引受可能な作業について、センター広報誌へ掲載して受注拡大に努めた。
- ②ハローワーク長井主催の「まだまだやれる就職面談会」に参加して、参加企業等に対し、就業依頼の取り組みを実施した。

(7) 安全就業の推進

- ①安全・適正就業審査委員会による安全対策や猛暑対策、蜂刺され対策を検討した。刈払機作業については、作業直前の現場確認と危険箇所確認の徹底を図った。また、現地巡回を実施し、作業している会員の安全意識の向上を図った。
- ②職群毎に安全作業の講習を実施した。刈込剪定職群班では現地巡回指導を行い、安全対策の向上に努めた。
- ③安全・適正就業審査委員の資質向上を目指し、安全就業に係る研修会や県シ連主催の安全就業推進大会に参加した。

(8) ボランティア活動及び社会貢献

- ①長井市最上川河川緑地公園の階段除草、白鷹町健康広場の草刈り・除草、飯豊町どんでん平ゆり園の除草作業を実施した。

- ②刈込剪定作業の技能講習会を兼ねて、白鷹町立東根小学校で刈込剪定講習、当センター長井事務所内及び長井市立長井小学校で刈込剪定講習を実施した。
- ③雪囲い作業の技能講習を兼ねて、長井市あやめ公園内の樹木の雪囲い作業を実施した。

(9) 交流広場「とまり木」の活動

- ①会員及び一般市町民が交流できる場として、手芸、折り紙、植物愛好会、尺八愛好会、健康体操、輪投げの6つのコーナーが定期的な活動を実施した。
- ②「第3回とまり木フェスティバル」を長井市小桜館において2日間にわたり実施して会員及び地域住民の方と交流を図った。